

テーマⅣ：多様な主体と地域連携・協働による多自然川づくりの事例

しべちや水辺の楽校活用促進に向けた 取組について



北海道開発局 釧路開発建設部 釧路河川事務所 まんたに 萬谷 たいが 太雅

本発表の背景

地元の要望

環境教育の学習の場として、
子ども達が利用しやすい水辺
にして欲しい

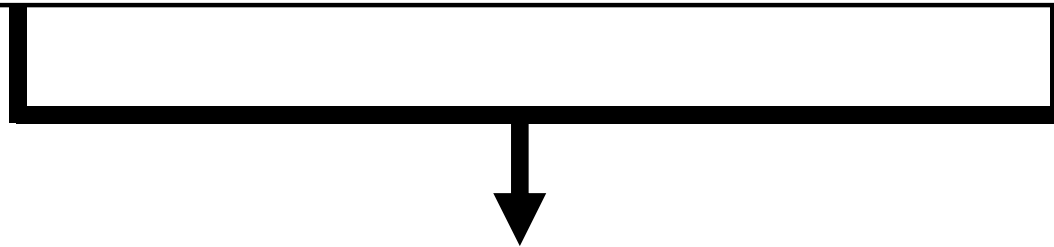


「しべちゃ水辺の楽校」整備
⇒水生生物調査を実施

標茶中学校から、出前講座
(防災学習)の要請



河川防災への関心が
高まっている



目的

水辺の楽校において、これまで以上に河川利用を促進させる
企画を実施

川の防災への意識を高める

①水生生物調査

水辺の楽校の活用促進

②水辺の楽校祭

発表の流れ

- しべちや水辺の楽校について
- 水生生物調査での防災学習
- 水辺の楽校祭について
- 今回の取組による効果
- まとめ

しべちゃ水辺の楽校の位置について

整備後の標茶町市街
(平成27年7月撮影)

水辺の楽校完成年:平成25年

パークゴルフ場

ときわ橋

水辺の楽校

みんなの水辺

標茶小学校

グラウンド

テニスコート

緑地公園

釧路川

国道274号

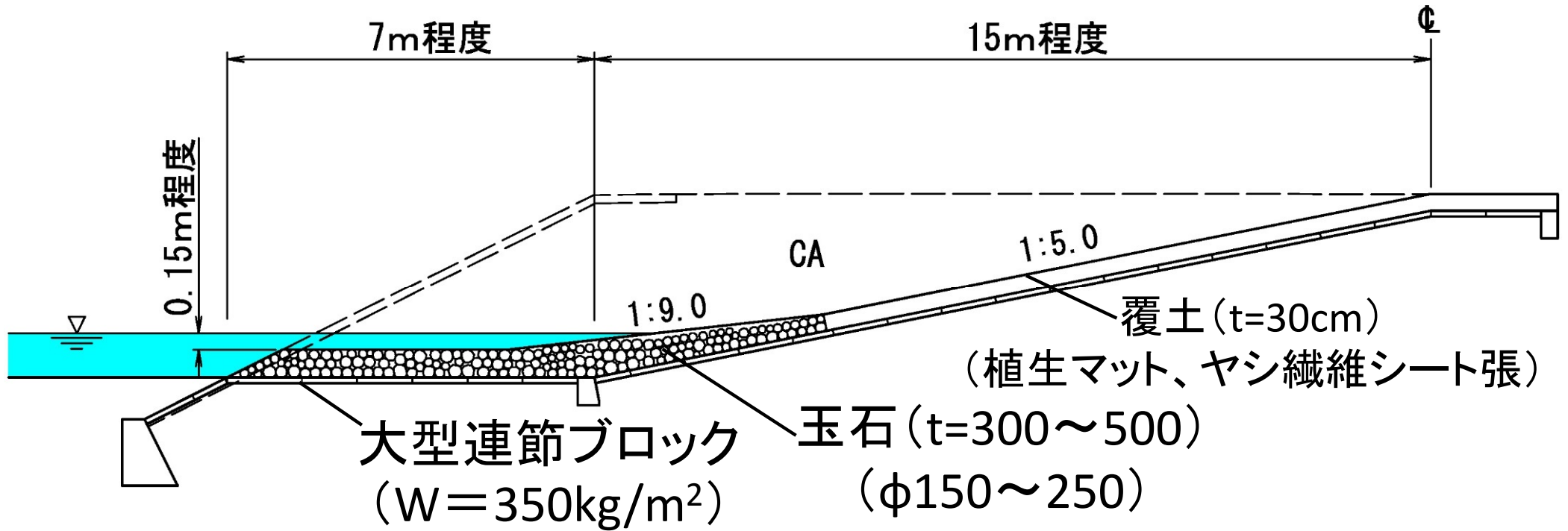
国道391号

開運橋



標茶町

水辺の楽校(みんなの水辺)整備標準図



完成当時の状況



平成23年8月撮影

現在の状況



平成30年8月撮影

①水生生物調査における防災学習

参加者：標茶町立標茶小学校児童13名 釧路湿原川レンジャー16名※1
実施日：平成30年8月7日(七夕の日)

水生生物調査前に

- 川で安全に遊ぶためのルールを学習
- 川に潜む危険を学習



調査の様子



ライフジャケットの
着用方法の指導



川に潜む危険を知る方法の体験※2



- ※1 釧路川や釧路湿原の河川環境をモニタリングする市民ボランティア活動
- ※2 平成30年7月30日実施時の写真を引用

②水辺の楽校祭について

七夕(8月7日)にちなみ、企画・準備・進行を職員が手作りで楽校祭を開催。

➡ 水辺の楽校の活用促進・水辺に親しむための企画。
(例年に比べ、親の参加も増加)



折紙や短冊用紙の作製



七夕のつどい



わたあめ作り体験



今回の取組による効果① 参加者の声

川は楽しいところであり、危険なところもあることがわかった。

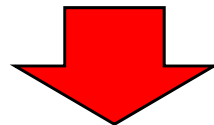
この地域で子ども達と遊べる場所は貴重。

初めて水辺の楽校でお祭りをして楽しかった。

来年も水生生物調査と水辺の楽校祭に参加したい。



子ども達



釧路湿原川レンジャー

- 川に関心を持つ機会となった
- 世代間交流の場となった

今回の取組による効果② 自治体・職員の声

子ども達が川に近づく企画はありがたい。

ボランティアで、職員全員が楽しんで準備できた。

地元と関わる機会ができて良かった。

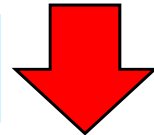
子ども達が川に関心を持てて良かった。



来年は早期に事務所と取組み、更に素晴らしい企画にしたい。

役場と連携したことで、地域に事業説明の機会ができた。

標茶町役場



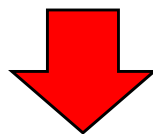
釧路開発建設部

- 事務所が地域との関わりを持つ機会を得た
- 事務所と役場の信頼関係の強化が図られた

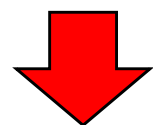
まとめ

<しべちや水辺の楽校の活用一効果>

「水辺の楽校祭」を実施（ソフト対応としてフォロー）
＝河川利用の促進に繋げる企画



- 川の楽しみや河川環境、防災について学ぶ機会となった
- 世代間交流の場となった
- 事務所が地域との関わりを持つ機会を得た
- 事務所と役場の信頼関係・連携の強化が図られた



今後、学校教育や世代間交流の場として、
水辺の楽校がより活用されるように支援（ハード&ソフト）



H30第1回水辺の楽校祭 記念撮影の様子